

「異字同訓」の漢字の用法(追加字種・追加音訓関連)(案)

<追加字種関連>

- 1 きる  
切る……野菜を切る。期限を切る。電源を切る。縁を切る。  
斬る……刀で斬(切)る。敵を斬(切)り殺す。世相を斬(切)る。
- 2 におい・におう  
匂い・匂う……梅の花の匂い。香水がほのかに匂う。  
臭い・臭う……魚の腐った臭い。生ごみが臭う。
- 3 はる  
張る……氷が張る。テントを張る。策略を張り巡らす。張りのある声。  
貼る……ポスターを貼る。タイル貼りの壁。切手を貼り付ける。
- 4 あやしい  
怪しい……挙動が怪しい。空模様が怪しい。怪しい人影を見る。  
妖しい……妖しい魅力。妖しく輝く瞳。
- 5 とらえる  
捕らえる……犯人を捕らえる。獲物の捕らえ方。  
捉える……文章の要点を捉える。問題の捉え方が難しい。
- 6 あたる・あてる  

当たる・当てる……ボールが体に当たる。任に当たる。予報が当たる。出発に  
当たって。胸に手を当てる。日光に当てる。当て外れ。  
充てる……建築費に充(当)てる。保安要員に充(当)てる。

宛てる……恩師に宛てて手紙を書く。本社に宛てられた書類。
- 7 こう  
請う……許可を請(乞)う。紹介を請(乞)う。案内を請(乞)う。  
乞う……乞う御期待。命乞いをする。雨乞いの儀式。慈悲を乞う。
- 8 あと  
跡……車輪の跡。苦心の跡が見える。父の跡を継ぐ。  
痕……傷痕が痛む。壁に残る弾丸の痕。手術の痕(跡)。
- 9 うた  
歌……歌を歌う。美しい歌声が響く。  
唄……小唄の師匠。長唄を習う。馬子唄が聞こえる。
- 10 おそれる  
恐れる……死を恐れる。報復を恐れて逃亡する。失敗を恐れるな。  
畏れる……師を畏れ敬う。神を畏(恐)れる。畏(恐)れ多いお言葉。

<追加音訓関連>

1 こむ

混む……電車が混(込)む。混(込)み合う店内。人混(込)みを避ける。  
込む……負けが込む。手の込んだ細工を施す。仕事が立て込む。

2 におい・におう

匂い・匂う……梅の花の匂い。香水がほのかに匂う。  
臭い・臭う……魚の腐った臭い。生ごみが臭う。

3 のべる

延べる……出発の期日を延べる。布団を延べる。金の延べ棒。  
伸べる……手を伸べて助け起こす。救いの手を伸べる。

4 いく

行く……電車で行く。早く行こう。仕事帰りに図書館に行った。  
逝く……ぼっくり逝く。多くの人に惜しまれながら逝った。

5 つくる

作る……米を作る。規則を作る。小説を作る。まぐろを刺身に作る。生け作り。  
造る……船を造る。庭園を造る。酒を造る。

創る……新しい文化を創(作)る。画期的な商品を創(作)り出す。

6 はやまる

早まる……出発時間が早まる。順番が早まる。早まった行動。  
速まる……回転のスピードが速まる。脈拍が速まる。

7 つとまる

勤まる……この会社は彼には勤まらない。私にも十分勤(務)まる仕事だ。  
務まる……主役は務まらないだろう。彼に会長が務まるかどうか不安だ。